

# 仏事の知識 引導

お葬儀のときの「引導を渡す」とは、亡くなられた人を仏の教えにより、仏の世界へ導き引き入れることを意味する。導師は「引導法語」を述べるが、禅宗葬儀の際の最も重要な部分であり、故人の死を悼むとともに、生前の生き様、これまでのお徳、行いを述べ、これからの仏弟子としての生きる道を教示するものです。

引導法語の最後に、静かに唱え、又は大きく声を張り上げる言葉を一字閑と言つ。「露」「暎」「喝」・・・これは中国禅宗で高僧が弟子達を導くときの励まし、叱咤の語(一字をもつて人を説得させる)であったが、葬儀においても故人をお悟りの世界へ導き入れるために用いられるようになった。

あいつにはもうこれが最後、『引導渡してやった』なんてよく言つ言葉ですが、よほどの仏道に精進した人でないと人を説得することは難しいことです。

## 各寺の行事

- 四月二五日 貝屋 法蔵寺大般若
- 五月 三日 猿沢 瑞雲寺大般若落慶
- 五月 十日 西条 大總寺大般若
- 五月十三日 大須戸東泉寺大般若先住忌
- 五月十六日 東本 大輪寺大般若
- 五月十八日、二十日 田上 東龍寺眼蔵会
- 五月二十日 下中 常勝寺大般若
- 五月二一日 黒川 長谷寺大般若先住忌
- 五月二一日 春木山 西法寺大般若
- 五月二七日 下館 増慶院大般若
- 六月 四日 持倉 正統寺大般若
- 六月十四日 鳥潟 龍泉寺大般若
- 六月十八日 東牧 東牧寺大般若
- 六月二十日 当寺大般若
- 六月二三日 貝屋 法蔵寺会場
- 教区護持会総会
- 六月二五日 上鍛冶 金蔵寺大般若
- 七月 一日 平林 千眼寺大般若
- 八月 九日 山屋 永徳寺施食会
- 八月二十日 湯沢 松岳寺大般若
- 九月六日、七日 本寺耕雲寺開山忌
- 九月二四日、二六日 広蔵寺団参
- 永平寺 白川郷・飛騨高山・下呂温泉の旅
- 十月 七日 広蔵寺寄席
- 第二回 三遊亭鳳楽独演会
- 十月 十日 夏井 円福寺両祖忌
- 十月十五日 秋の仏教講演会
- 講師 桂小金治氏 会場 広蔵寺



4/24 永平寺妙高台にて

永平寺だより  
 長男神田孝純(二十三歳)は大本山永平寺での修行も二年目に入りました。現在、受処に配役になり参拝者の対応の任に当たっています。宮崎奕保禅師は百六歳、修行僧は現在二五〇名、毎日午前三時半起床、道元禅師を慕い、厳しい修行を積んでいます。  
 四月二二日、二七日授戒会随喜。引請師群馬迦葉山住職羽仁素道老師の侍者配役にて五日間お務めしてきました。